



みつくら



《 北米産大豆 》

15/16年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省が5月12日発表した、今年初めての15/16年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は米国、アルゼンチン、中国は前年度を下回る予測の一方で、ブラジル、インド、カナダでは前年度を上回る予測になっています。

また大豆がトウモロコシよりも価格優位にあること等から、世界全体では**史上最高だった前年度並み**を見込んでいます。世界全体の生産量と消費量は共に前年度を上回り、期末在庫は昨年度より増加する見込みです。

米国大豆生産・需給予測によれば、作付面積の増加、単収の向上から、生産量は史上最高だった前年産を3%下回るものの、それにつぐ高い水準を予測しています。消費量は堅調ながら、輸出が伸び悩む見通しから期末在庫量が**前年比43.1%増**の1,361万tと**大幅に増加する予測**となっています。

15/16年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億1,730万t	(対前年比 0.0%増)
消費量	3億0,428万t	(対前年比 4.3%増)
期末在庫量	9,622万t	(対前年比 12.5%増)
期末在庫率	31.6%	(対前年度差 2.3ポイント増)

15/16年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	1億0,478万t	(対前年比 3.0%減)
消費量	5,319万t	(対前年比 0.7%増)
輸出量	4,831万t	(対前年比 1.4%減)
期末在庫量	1,361万t	(対前年比 43.1%増)
期末在庫率	13.4%	(対前年度差 4.1%増)



○15年産米国大豆作付情報

米農務省が5月11日に発表した5月10日現在の米国大豆作付率は、主要18州平均で31%（前週 13%、前年 18%、平年 20%）となっており、平年よりも早い状態で推移しています。

州別では、インディアナ州 17%（前年 20%）、オハイオ州 23%（前年 12%）、ミシガン州 32%（前年 9%）、イリノイ州 33%（前年 23%）、アイオワ州 30%（前年 17%）、ノースダコタ州 24%（前年 0%）となっており、順調に作付が進展している状況が伺えます。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



みつくुरら



《 国産大豆 》

○平成27年産大豆作付予測

J A全農はこのほど、3月末時点での27年産大豆の作付意向面積を11万1,000ha（前年実績比 10万6,900ha、本年生産計画比 4,700ha増）と発表しました。

北海道で小豆、黒豆からの作付転換により、とよまさり系が3,000ha近く作付が増加する傾向にあるほか、東日本全体では約600haの増加が見込まれ、特に宮城県では塩害からの回復により400haの増加予測となっています。西日本（約700ha）・九州（約100ha）でいずれも作付が増加する見込みです。

○平成26年産国産大豆入札情報

平成26年産国産大豆の4月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数7,073トンで、落札が6,887トン、落札率が97%という結果となりました。3月と比較すると、平均落札価格は、60kg/1,606円上昇しました。3月の入札で1万9,000円台を付けていた九州のフクユタカは、福岡・佐賀両県で2万円の大台を超えました。また、東海・滋賀のフクユタカは1万7,000円台、北海道音更大袖振大粒や新潟・富山のエンレイなども1万5,000円台の高値を付けています。

あわせてJ A全農では、26年産大豆の入札を4月から月2回実施しており、5月は8,000トン、6月・7月は合計1万3,000トンの上場を予定していると発表しています。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
14年 11月	1,708 t	1,708 t	100%
12月	3,347 t	3,308 t	99%
15年 1月	8,551 t	8,056 t	94%
2月	8,409 t	8,041 t	96%
3月	8,124 t	7,590 t	93%
4月	7,073 t	6,887 t	97%
合計	37,212 t	35,590 t	95.6%

《 トピックス 》

○「第1回日本一旨い豆腐を決める品評会」を6月に京都で開催

京都府豆腐油揚商工組合では全国豆腐連合会の後援を受け、全国規模としては初めてとなる豆腐品評会「第1回日本一旨い豆腐を決める品評会」を、6月20日に開くことを発表しました。実際に流通している商品を対象とし、全国から出店された豆腐をもめん・絹ごし・充填豆腐の3部門で審査し、それぞれ金賞・銀賞・銅賞・特別賞を決定する。

商品のレベルアップや社会的地位の向上につなげるのが目的で、受賞商品は3年間告知することができるとのことです。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>